



いばらきフードロス削減プロジェクト

**令和7年度第2回いばらきフードロス削減推進事業者協議会**  
**資料**

**2025年度の実施状況及び**  
**2026年度の実施方針について**

2026年(令和8年)3月27日  
茨城県

# 2025年度（令和7年度）の取組状況

いばらきフードロス削減推進事業者協議会

会議等	時期	内容
第1回会議	6月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協議事項1 「いばらきフードロス削減取組メニュー」の公開及び「いばらきフードロス削減取組宣言」の募集開始について → 名称、時期、宣言書・ロゴマークのデザイン等を決定</li> <li>○協議事項2 実践拡大キャンペーンについて → フードドライブキャンペーンの実施を決定 食べきりキャンペーンについて協議</li> </ul>
メニュー公開 ・宣言募集	7月3日～	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「いばらきフードロス削減取組メニュー」を公開</li> <li>○「いばらきフードロス削減取組宣言」を募集（1月20日現在22件）</li> </ul>
フードドライブ キャンペーン	10月1日～ 11月30日	○フードドライブ実施情報を一元化し、食品寄附を一斉に呼びかけ（常設BOX等約380か所、社内イベント15件。受入量約16トン）
食品ロスみんなでゼロ キャンペーン	10月1日～ 11月30日	○家庭における食品ロス記録シートの記入を募集（パンフレット兼食品ロス記録シートを配布）
食べきり啓発	12月1日～ 1月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組宣言の店舗や食べきり協力店の利用を呼びかけ（「おいしい食べきり」全国共同キャンペーン）</li> <li>○県内最大級の賀詞交歓会「千鳥會」で食べきりを啓発（1月8日。約千人に司会が呼びかけ、ポスター・卓上POPの掲示）</li> </ul>
災害用備蓄食品 の寄附募集	12月8日～	○経済団体を通じて事業者には災害用備蓄食品の寄附を呼びかけ
食品ロス削減推進計画 の策定	3月24日	○食品ロス削減推進法第12条に基づき、本県の食品ロス削減対策を推進するため策定（新たに本県発生量の推計、目標値などを設定）
第2回会議	3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報告事項「2025年度の取組状況について」</li> <li>○協議事項「2026年度の取組方針について」</li> </ul>
情報発信	通年	○県内食品関連団体・事業者の取組を情報発信

## 取組方針

- いばらきフードロス削減取組宣言数の上積み
- いばらきフードドライブキャンペーンの強化によるフードドライブ実践拡大
- 県内の食品関連団体・事業者の取組を積極的に情報発信
- 協議会としての定量的削減効果の把握  
（例：宣言やキャンペーンの関係者数やロス削減量の推計）
- 業種間・業態間の連携による新たなロス削減取組の検討

## 実施計画

会議等	時期	内容
フードドライブキャンペーン	6月1日～6月30日 10月1日～11月30日	○いばらきフードドライブキャンペーンの実施
食品ロス削減キャンペーン	12月頃	○食べきり協力店と連携したキャンペーンを検討中
宣言の募集	通年	○「いばらきフードロス削減取組宣言」の募集
情報発信	通年	○県内食品関連団体・事業者の取組を情報発信
協議会開催	随時（年1～2回）	○2026年度の取組状況について ○2027年度の取組方針について

## ① 「いばらきフードロス削減取組宣言」の募集 (「いばらきフードロス削減取組メニュー」の公開、「ロゴマーク」の利用を含む)

- ◇目的 食品関連事業者・団体が自らのフードロス削減の取組を宣言として登録し、県ホームページ等で発信していくことにより、食品業界全体でフードロス削減に積極的に取り組んでいる姿勢を広くアピール。
- ◇対象 県内の食品関連事業者・団体（5業態：食品製造業、食品卸売業、食品小売業、宿泊業、飲食業）
- ◇宣言内容 食品関連事業者・団体が「いばらきフードロス削減取組メニュー」から取組を選択し、自らの取組を1つ以上宣言。独自の取組のPRも可。
- ◇募集開始日 2025年7月3日
- ◇情報発信
- ・宣言事業者・団体を「いばらきフードロス削減パートナー」として、県ホームページに宣言を掲載（リンクを含む）
  - ・いばらきフードロス削減取組メニューを県ホームページに掲載（単体、宣言登録様式）
  - ・オリジナルデザインの宣言書と店頭用ステッカーをパートナーに交付
  - ・ロゴマークをフードロス削減の取組に利用可（市町村及びパートナーは利用申請不要）
  - ・パートナーの店舗や商品の利用・購入を通じた協力を県民に呼びかけ
- ◇主な広報
- ・県ホームページ（募集案内、取組メニュー、登録申請の要項様式、電子申請フォーム、ロゴマーク使用規程・画像、パートナー一覧と宣言の一覧、など）
  - ・食品関連団体の総会等で説明
  - ・県広報紙「ひばり」10月号食品ロス特集
  - ・県産業戦略部メールマガジン（7月）
  - ・県営業戦略部と連携して事業者と打合せ（12月～）
  - ・保健所（県・水戸市）の窓口でチラシ配布
  - ・市町村による案内（例：水戸市による市食べきり協力店への案内）
  - ・経済団体等を通じて事業者等へ案内
  - ・茨城県環境管理協会のメールマガジン（11月）、会報掲載（11月）
- ◇宣言数 22件（16事業者+6団体。2026年1月20日現在）  
14業種 ※業種達成率 44%（2025年度目標：食品関連主要32業種）  
905事業所 ※取組事業所達成率 45%（2030年度目標（食品ロス削減計画）：取組事業所2,000以上）
- ◇2026年度方針
- ・宣言数の上積み
  - ・必要に応じて取組メニューの見直し

# いばらきフードロス削減取組宣言募集チラシ

(表)

(裏)

県内食品関連事業者・団体の皆様へ いばらきフードロス削減プロジェクト 茨城県

## いばらきフードロス削減取組宣言 募集中!

食料供給県である本県において、食品業界全体がフードロス削減に積極的に取り組んでいる姿勢を広く発信していくため、茨城県では「いばらきフードロス削減取組宣言」登録事業者を募集しています。この機会に、取組への御賛同をお願いいたします。

### 対象者

茨城県内の食品関連事業者及び団体\*  
(\* 5業態：食品製造業、食品卸売業、食品小売業、宿泊業、飲食業)

### 宣言の流れ

#### 宣言内容を検討

「いばらきフードロス削減取組メニュー」から1つ以上の取組を選択(※独自の取組も可)

#### 登録

申請フォーム等から申請書を県に提出  
県が申請内容を確認

#### 登録完了

「いばらきフードロス削減パートナー」として宣言を県ホームページ等に掲載

### 取組の具体例

業態	取組例
食品製造業	AIを活用した需要予測により、無駄のない調達に努めます。
食品卸売業	納品期限の緩和(1/3ルール等、商慣習の見直し)に努めます。
食品小売業	賞味期限・消費期限の近い食品を値引きして販売します。
宿泊業	3010運動など、食べきりの呼びかけに取り組みます。
飲食業	小盛メニューの導入等、食べ残しを減らす工夫をします。
共通	フードロス発生量の定期的・継続的な把握に努めます。
団体	会員事業者にフードロス削減に関する情報共有を行います。

### 登録事業者のメリット

環境に優しい事業者、社会貢献を行う事業者としてのPR

過剰生産・廃棄の経費削減

県ホームページ等へのパートナー名掲載による知名度向上(県民への利用・購入呼びかけ)

県オリジナル広報資材の提供等(店頭用ステッカー、ロゴマークほか)

### 取組のねらい(期待する効果)

食料供給県である茨城県のさらなるイメージアップ

フードロス削減による環境負荷の軽減

食品提供による経済的困窮者等の支援



### いばらきフードロス削減ロゴマーク等



<店頭用ステッカー(直径12cm)> <ロゴマーク>  
パートナーはフードロス削減の取組に使用できます。

### 登録申請の方法、様式

● 県ホームページをご覧ください。

いばらきフードロス削減取組宣言



<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukanryo/kansei/kankyo/foodloss/sengen.html>

Webフォーム(いばらき電子申請・届出サービス)または申請書様式をダウンロードしてメール等で申請できます。

問合せ・申請先

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6  
茨城県県民生活環境部環境政策課環境企画グループ  
TEL 029-301-2933 FAX 029-301-2949  
E-mail: kansel1@pref.ibaraki.lg.jp

## いばらきフードロス削減取組宣言登録状況（2026年1月20日現在）22件（6団体+16事業者。延べ905事業所）

着	パートナー（宣言事業者等）の名称	業態	事業所等（取組場所）	延べ事業所数
1	茨城県生活協同組合連合会	小売・飲食（宅食）	団体+15会員組合（生協）	16
2	茨城県麺類業生活衛生同業組合	飲食（そば）	団体+42組合員（店舗）	43
3	さ志まや製菓(株)	製造（煎餅）	事務所・工場、2店舗	3
4	茨城県食品産業協議会	団体	団体	1
5	かしの木 千	飲食	店舗	1
6	(株)よろぎ野. 菜	卸売（野菜）	事務所	1
7	(株)セブン-イレブン・ジャパン	小売（コンビニストア）	事務所1+649店舗	650
8	茨城県すし商生活衛生同業組合	飲食（寿司）	団体+33組合員（店舗）	34
9	茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合	旅館・ホテル	団体	1
10	小滝食品	食肉小売	店舗	1
11	(株)筑波山江戸屋	旅館・ホテル	旅館	1
12	(株)せき	卸売（野菜）	本社、工場	2
13	(株)永井農芸センター	製造・卸売・小売(干しいも)	事業所	1
14	(株)明治茨城工場	製造（冷凍食品）	工場	1
15	(株)明治守谷工場	製造（ヨーグルト・冷凍食品等）	工場	1
16	就労継続支援A型事業所KANAME USHIKU	小売・福祉	店舗（KUマーケット）	1
17	飯島畜産（株）	卸売・小売	本社、店舗、2営業所	4
18	洋風笠間菓子グリユイエール	製造	店舗、工場	2
19	茨城県大同青果(株)	卸売（野菜）	事業所	1
20	茨城県菓子工業組合	製造	団体+92組合員（店舗）	93
21	とんかつ割烹 楽天	飲食	店舗	1
22	(株)ヨークベニマル	小売	県内全46店舗	46

2025年度目標	2026年1月末現在
<b>宣言実施の業種 カバー率100%</b> （食品関連主要32業種）	<b>宣言実施の業種 カバー率44%</b> （食品関連14業種）

2030年度目標	2026年1月末現在
<b>宣言事業者の 事業所数 2,000事業所</b>	<b>宣言事業者の 事業所数 905事業（45%）</b>

## ② 「いばらきフードドライブキャンペーン」

◇目的	フードロス削減取組（フードドライブ）の実践拡大 ①フードドライブの認知度向上、普及 ②事業者のフードロス削減取組の後押し、実践拡大 ③消費者の食品ロス削減や福祉に関する意識の醸成、行動変容 ④生活困窮者の食の確保、福祉サービスの向上、ボランティアについての学び、食べ物を大切にする文化
◇期間	2025年10月1日～11月30日（10月食品ロス削減月間、11月秋のこどもまんなか月間）
◇受入機関	市町村、県・市町村社会福祉協議会、フードバンク茨城、スーパー、コンビニ、団体・事業者
◇受入場所	・常設BOX、窓口等 374か所（フードバンク茨城様きずなBOX219か所、(株)カミ様22店舗（ほか） ・イベント 4か所（アンテラス@刈カリストadium、県主催3Rイベント@イオンモール水戸内原（ほか） ・社内限定イベント 15件（セブンイレブン・ジャパン様、茨城県生活協同組合連合会様、県庁職員（ほか）
◇主な広報	・フードドライブ実施情報を一元化して県ホームページで紹介 実施情報（受入場所等）一覧、メリット、手順、ボランティア、税制優遇、相談先 など ・県広報紙「ひばり」10月号食品ロス特集 ・県政策広報番組「CHALLENGE IBARAKI」食品ロス特集（10分動画。10月ケーブルテレビ） ・県産業戦略部メールマガジン ・新聞掲載（東京新聞、茨城新聞） ・受入機関や経済団体等による案内 ・茨城県環境管理協会のメールマガジン（11月）
◇受入食品総重量	約16トン
◇効果・反応 （聞き取り、アンケート回答）	・スーパー：食品受入量は増加。キャンペーンの効果があったとの回答あり。 ・フードバンク茨城：食品受入量は、前年同時期比でフードドライブ分は微増、きずなBOX分は減少。 ・市町村・社協：キャンペーンの継続希望や、広報の意欲や提案あり。 ・県民：ひばり10月号アンケート回答 約47%が食品ロス特集を良かった記事と回答。 約7%が食品ロスに関する感想を回答。フードドライブや寄附についての感想では、実践意欲が高い。 ・寄附事業者アンケート回答 ほとんどがフードドライブ実施経験があり、今後も継続して実施する意向があった。
◇2026年度方針	・通年でフードドライブ実施情報を募集し、県ホームページで紹介 ・フードドライブキャンペーンの強化 キャンペーン回数増（6月、10～11月）、ライオンズクラブ等への協力依頼、 スポーツイベント等での実施に向けた調整、子ども食堂等への生鮮・冷凍食品の直接寄附の調整 事業者へののぼり旗やボックスの貸出、災害用備蓄食品の寄附募集、需給マッチング支援

# いばらきフードドライブキャンペーンポスター、チラシ、チラシひな型

## ポスター

「もったいない」を「ありがとう」に

# いばらきフードドライブ キャンペーン

食品の寄附にご協力ください！

**集中募集期間**  
**令和7年10月1日(水)～11月30日(日)**  
 10月「食品ロス削減月間」・11月「秋のこどもまんなか月間」

フードドライブとは、家庭や職場で使い切れない食品を集め、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄附する活動の事です。

**○受け入れる食品**

- 賞味期限が2か月以上あるもの
- 常温で保存できるもの
- 未開封のもの
- 日本語で表示されているもの

(例えば…)

お米 (2024～2025年度でカビや虫等がないもの)  
 防災備蓄用食品、缶詰、レトルト食品、  
 乾麺、カップ麺、菓子、飲料、調味料 など

**×受け入れできない食品**

- 野菜や果物などの生鮮食品
- 冷蔵、冷凍が必要なもの
- 酒類
- 健康食品、医薬品
- 手作り品 など

**受入機関**

- お住まいの市町村や社会福祉協議会
- フードバンク茨城 (牛久、水戸、きずなBOX)
- 一部のスーパー・コンビニ・団体・事業者 など

受入場所などの詳細はホームページをご覧ください！

いばらきフードドライブキャンペーン

いばらきフードロス削減プロジェクト

問合せ先  
 茨城県民生活環境部環境政策課  
 TEL: 029-301-2933 FAX: 029-301-2949  
 E-mail: kansei1@pref.ibaraki.lg.jp

いばらきフードロス削減プロジェクト  
 問合せ先  
 茨城県民生活環境部環境政策課  
 TEL: 029-301-2933

## チラシ

「もったいない」を「ありがとう」に  
**いばらきフードドライブキャンペーン**  
 食品の寄附にご協力ください！

**集中募集期間 令和7年10月1日(水)～11月30日(日)**  
 10月「食品ロス削減月間」・11月「秋のこどもまんなか月間」

フードドライブとは、家庭や職場で使い切れない食品を集め、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄附する活動の事です。

個人・企業・団体の皆様 **寄附** → **受入機関** (フードバンク活動団体等) → **提供** → 支援団体を通じて食品を必要としている方へ

**○受け入れる食品** (食べることに問題がない食品)

- 賞味期限が2か月以上あるもの
- 常温で保存できるもの
- 未開封のもの
- 日本語で表示されているもの

(例えば…)

お米 (2024～2025年度でカビや虫等がないもの)  
 防災備蓄用食品、缶詰、レトルト食品、  
 乾麺、カップ麺、菓子、飲料、調味料 など

**×受け入れできない食品**

- 野菜や果物などの生鮮食品
- 冷蔵、冷凍が必要なもの
- 酒類
- 健康食品、医薬品
- 手作り品 など

※受入機関によって、条件が異なる場合があります。  
 ※食品の状態によっては受入をお断りする場合があります。  
 ※大量に寄附いただける場合は事前に受入機関へ連絡をお願いします。

**受入機関**

- お住まいの市町村や社会福祉協議会
- フードバンク茨城 (牛久、水戸、きずなBOX (市町村庁舎等約200か所))
- 一部のスーパー・コンビニ・団体・事業者 など

問合せ先 **受入場所などの詳細はホームページをご覧ください！**

○キャンペーンに関すること  
 茨城県民生活環境部環境政策課  
 TEL: 029-301-2933 FAX: 029-301-2949  
 E-mail: kansei1@pref.ibaraki.lg.jp

○事業者の食品ロス削減プロジェクトに関すること  
 いばらきフードロス削減プロジェクトマッピング支援コーディネート窓口 (県環境政策課委託)  
 TEL: 029-233-6734 E-mail: no-foodloss@joyobank.co.jp

○子ども食堂に関すること  
 子ども食堂サポートセンターいばらき (県青少年家庭課委託)  
 TEL: 029-303-5561 E-mail: kodomo@npccommons.org

## チラシひな型

「もったいない」を「ありがとう」に

# フードドライブ を実施します！

食品の寄附にご協力ください！

フードドライブとは、家庭や職場で使い切れない食品を集め、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄附する活動の事です。

**○受け入れる食品**

- 賞味期限が2か月以上あるもの
- 常温で保存できるもの
- 未開封のもの
- 日本語で表示されているもの

(例えば…)

お米、防災備蓄用食品、  
 缶詰、レトルト食品、  
 乾麺、カップ麺、菓子、飲料、  
 調味料 など

**×受け入れできない食品**

- 野菜や果物などの生鮮食品
- 冷蔵、冷凍が必要なもの
- 酒類、健康食品、医薬品
- 手作り品 など

「いばらきフードドライブキャンペーン」や  
 フードドライブに関する詳しい情報はこちら▶

いばらきフードドライブキャンペーン

茨城県民生活環境部環境政策課  
 TEL: 029-301-2933

いばらきフードロス削減プロジェクト

問合せ先  
 茨城県民生活環境部環境政策課  
 TEL: 029-301-2933

### 家庭系 食品ロスの内訳(令和5年度)

(出典)環境省資料

食べ残し 97万トン 42%

資源廃棄 100万トン 43%

過剰除去 36万トン 15%

全国 発生量 233万トン

## 食品ロスはなぜ問題?

水分の多い食品を捨却すると、多くのCO<sub>2</sub>が排出され、環境に悪影響を及ぼします。また、焼却後の灰の埋め立て場所の確保や処理費用の問題も発生しています。さらに、世界の人口増加が予想される中、食品ロスを放置すると、食料危機のリスクが高まります。

**「食品ロス」**とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。その量は、全国で年間約464万トン。これは、国民1人当たり、**毎日おにぎり1個分の量を捨てる**ことに相当します。食品ロスの半数はなんと家庭から、食品ロスを減らすために、手軽にできることから実践してみませんか?

国 県資源循環推進課  
環境政策課  
E-mail: eor@kono.go.jp  
Phone: 090-1-2220

## 身近なことから始めよう!

### 買い物時に 冷蔵庫の中をチェック

買い物に行く前に、冷蔵庫の中身や食品の賞味期限を確認してから出かけましょう。スマホで写真撮影しておくのもおすすめです。

### 家で 食材を使い切ろう

料理をする時は、残った食材や期限が近い食材から使い、レシピにサイトなどを参考に、食材をすべて使うレシピを探してみましょう。

### 外食で 「食べきれぬ量」を注ぎましょう

外食する時、ついでに頼み過ぎていませんか? 店員さんと「ミニオーダー」をとり、食べきれぬ量を注ぎましょう。小盛りやハーフメニューを併用してくれるお店もあります。

### 「あ店で、まえてどりをしよう」

買い物をする時は、すぐに食べるなら商品類の手助から「まえてどりをまえてどり」を実践してみよう。

これが目印!

詳しくは「ゼロウェイスト」のサイトを参照。

# みんなで減らそう 食品ロス

### フードドライブに寄附しよう!

フードドライブとは、家庭や職場で余っている未開封・賞味期限前の食材を集めて、**フードバンクや福祉施設などに寄附する活動**です。公共施設やスーパーマーケットなどで、専用BOXが常設されているところもあります。

### 事業者の方も一緒に取り組もう!

**マッチング支援コーディネーター窓口**  
食品ロスを抱える事業者と活用したい事業者のマッチングを支援しています。

**いばらきフードロス削減取組宣言**  
食品ロス削減の取り組みを宣言して、PRしませんか? 県ホームページに掲載し、オリジナルの宣言書やステッカーを提供します。

### キャンペーンに参加しよう!

**いばらきフードドライブキャンペーン**  
～「もったいない」を「ありがとう」に～

県内各所で一斉に食品の寄附を募集します。この機会にフードドライブに参加してみませんか?

**募集中募集期間** 11月30日(日)まで

**いばらき食品ロスみんなでゼロ作戦**  
～食品ロス記録シートで実践～

1週間分の食品ロスを「食品ロス記録シート」に記入して応募すると、抽選で「人と環境にやさしいエコ食品」をプレゼント!

**実施期間** 11月30日(日)まで



# 食品受入（寄附）の実績

## いばらきフードドライブキャンペーン 食品受入（寄附）量（一部は推計量）

### 4.1. 常設BOX等

※「-」は非公表等

受入機関	受入場所	2025年10月～11月の総受入量
NPO法人フードバンク茨城/Facebook	牛久本部、水戸支部、きずなBOX（設置場所一覧、地図）：公共施設等219か所	きずなBOX4,455kg、フードドライブ1,083kg（窓口、イベント、社内フードドライブの一部を含む）
株式会社ファミリーマート	ファミマフードドライブ：茨城県内ファミリーマート59店舗	-
株式会社ヨークベニマル	茨城県内ヨークベニマル44店舗	2139.2kg（食品、調味料、飲料等）
株式会社カスミ	茨城県内カスミ25店舗	633.99kg（菓子、調味料、乾物、飲料など）
日立市社会福祉協議会	フードBOXまんぶく：日立市内の交流センター等22か所	-

### 4.2. 窓口 ※受入量をきずなBOX（フードバンク茨城）に計上、非公表希望、情報提供なし等の機関については掲載を省略

受入機関	受入場所	提供先	2025年10月～11月の総受入量
茨城県社会福祉協議会	茨城県社会福祉協議会	市町村社会福祉協議会、県内福祉施設、子ども食堂	420kg以上（玄米80kg、大根360kg、食品・日用品は24箱、71点以上）
常陸大宮市社会福祉協議会	常陸大宮市社会福祉協議会	母子寡婦福祉会、市内福祉施設	64kg（菓子、さつまいも、米）
小美玉市社会福祉協議会（善意銀行）	玉里保健福祉センター、小川保健相談センター、四季健康館	市内子ども食堂、生活困窮者、フードパントリー	1,621.5kg（米、水、食品など）、日用品など108.2kg
稲敷市社会福祉協議会	稲敷市社会福祉協議会	市内子ども食堂、フードバンク茨城、困窮者支援	300kg（米）
下妻市社会福祉協議会	下妻市社会福祉協議会	市内子ども食堂、市内福祉施設、対象者向け食品配布事業	129.5kg（米、菓子、レトルト食品など）
利根町社会福祉協議会			- （実績はHP掲載省略）
大子町社会福祉協議会			- （実績はHP掲載省略）

### 4.3. イベント

受入機関	イベント名	受入場所	日時	提供先	受入量
株式会社鹿島アントラーズFC	SHOWA EXCITE MATCH 2025「フードドライブ Powered by SHOWA」	メルカリスタジアム場外フードドライブ特設ブース（鹿嶋市神向寺後山26-2）	11月8日（土）10時～14時	フードバンク茨城	305.4kg（昭和産業株式会社ホットケーキミックスなど241kg、個人100人菓子など64.4kg）
水戸市ごみ減量課	食品ロス削減月間フードドライブ	水戸市本庁舎東側入口（水戸市中央1-4-1）	10月16日（木）～10月30日（木）（土日を除く）8時30分～17時15分	フードバンク茨城	-
龍ヶ崎市社会福祉協議会	ふれ愛広場2025	龍ヶ崎市総合福祉センター（龍ヶ崎市川原代町5014）	10月4日（土）10時～14時30分	フードバンク茨城等	飲料24kg
茨城県資源循環推進課／環境政策課	「3R推進月間キャンペーン」内食品ロス削減コーナー	イオンモール水戸内原（水戸市内原2-1）	10月4日（土）10時～16時	フードバンク茨城	米、菓子など55.4kg

### 4.4. 社内フードドライブ（社内限定で受入）

実施主体	イベント名等	対象	実施場所	実施日又は寄附日	提供先	受入（寄附）量
株式会社カスミ	フードバンク活動	自店舗	茨城県内83店舗（2025年9月10日現在）	通年	地域のフードバンク、社会福祉協議会、子ども食堂等	1670.14kg（米、菓子、飲料、調味料、缶詰など）
茨城県生活協同組合連合会	2025年冬子ども応援プロジェクト	職員及び会員協同組合、関係協同組合総編	事務所	11月4日～12月5日	フードバンク茨城、茨城大学の一人暮らしの学生	3,656kg（野菜1,590kg、米2,012kg、ライス・パンク・麦茶・レトルトカレー・袋麺など54kg）
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	水戸地区事務所フードドライブ	自社、社員	水戸地区事務所	10月27日～11月14日	茨城県社会福祉協議会	13.2kg（食品、飲料、菓子など53点）、Yシャツ・対ル・化粧品など18点
株式会社ローソン	フードドライブ	自社、従業員	本社および北関東・首都圏エリアオフィス	11月4日（火）～11月24日（月）	フードバンク茨城	-
茨城北研株式会社	-	-	-	12月3日	フードバンク茨城	飲料など9.8kg
茨城県立水戸特別支援学校	-	-	-	11月27日	フードバンク茨城	米、レトルト食品など36.6kg
株式会社常陽銀行	-	-	-	11月20日	つくば子ども支援ネット、ami seed	災害備蓄食品270kg（90箱／2,160食分）
日本生命保険相互会社（水戸支社）	水戸支社フードドライブキャンペーン	従業員	水戸支社及び管内16営業部	10月6日～17日（贈呈式28日）	フードバンク茨城	レトルト食品、乾麺など158kg
茨城県	フードドライブ	職員	県庁	10月27日～31日	フードバンク茨城	米、菓子など75.2kg
連合茨城水戸地区協議会	-	-	-	10月27日	フードバンク茨城	缶詰、レトルト食品など35kg
水郡労働者福祉協議会	-	-	-	10月27日	フードバンク茨城	缶詰、レトルト食品など21.2kg
社会福祉法人北水会グループ	-	-	-	10月27日	フードバンク茨城	缶詰、菓子など42.8kg
佐藤株式会社	寄附活動	自社	茨城支店	10月15日	つくば子ども支援ネット	砂糖、あんこ、塩など180kg
茨城大学農学部	-	-	-	10月10日	稲敷市社協	米300kg
JFEライフ株式会社野菜事業部土浦グリーンハウス	-	-	-	10月6日～20日	フードバンク茨城	16.6kg（乾麺など9.1kg、精米7.5kg）

# 災害用備蓄食品寄附募集チラシ

企業・団体の皆様へ

## 「もったいない」を「ありがとう」に 災害用備蓄食品の寄附を募集しています



災害用備蓄食品を入れ替え時に廃棄するのではなく、食品を必要としている人につなぐことは、食品ロス削減、社会福祉への貢献、SDGsやCSR（企業の社会的責任）の取組につながります。寄附された食品は、支援団体を通じて、子ども、ひとり親家庭、生活困窮者などの支援につながります。

### 災害用備蓄食品の入れ替えで困っていませんか？



### ぜひご相談ください！

災害用備蓄食品の寄附をしたい企業・団体と、寄附を求める団体とのマッチングを支援しています。相談は無料です。

### いばらきフードロス削減プロジェクト マッチング支援コーディネート窓口

(株式会社常陽産業研究所：県委託)

TEL：029-233-6734

E-mail：no-foodloss@joyobank.co.jp

相談フォームはこちらから



(県ホームページ)

- 賞味期限は残り2か月以上が目安です。(2か月未満でも対応できる場合があります。)
- 原則として、寄附先団体(茨城県内)まで運搬をお願いします。
- 寄付先団体との合意書等が必要な場合はご相談ください。
- 窓口では、フードロスを抱える事業者と活用したい事業者からのお悩み・ご相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

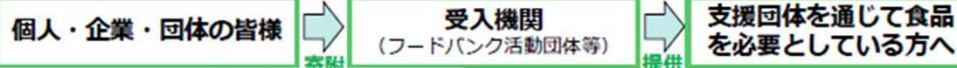
# 2026いばらきフードドライブキャンペーンチラシ

## 「もったいない」を「ありがとう」に いばらきフードドライブキャンペーン 食品の寄附にご協力ください！

フードドライブとは、家庭や職場で使い切れない食品を集め、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄附する活動のことです。

**集中募集期間 令和8年6月1日(月)～6月30日(火)** 6月「環境月間」

物価高騰の影響が続くなか、地域の子どもの食堂や生活にお困りの家庭は厳しい状況が続いています。特に学校給食のない夏休み中は、家での食費負担が増え、毎日の食事に困る家庭も少なくありません。“使う予定がないけれど、まだ十分に食べられる食品”が、誰かの暮らしを支えます。皆さまの温かなご支援をお待ちしています。



### ○受け入れる食品

- 賞味期限が2か月以上あるもの
- 常温で保存できるもの
- 未開封のもの
- 日本語で表示されているもの

(例えば…)

お米 (2024～2025年産でカビや虫等がないもの)  
災害用備蓄食品、缶詰、レトルト食品、乾麺、カップ麺、菓子、飲料、調味料など

### ×受け入れできない食品

- 野菜や果物などの生鮮食品
- 冷蔵、冷凍が必要なもの
- 酒類
- 健康食品、医薬品
- 手作り品 など

※受入機関によって、条件が異なる場合があります。  
※食品の状態によっては受入をお断りする場合があります。  
※大量に寄附いただける場合は事前に受入機関へ連絡をお願いします。

### 受入機関

- 市町村や社会福祉協議会
- フードバンク茨城 (牛久、水戸、きずなBOX (市町村庁舎等約200か所))
- 一部のスーパー・コンビニ・団体・事業者



フードドライブ実施情報の登録も募集しています。  
受入場所や詳細はホームページをご覧ください。

### 問合せ先

○キャンペーンに関すること  
茨城県県民生活環境部環境政策課  
TEL：029-301-2933 FAX：029-301-2949  
E-mail：kansei1@pref.ibaraki.lg.jp

○事業者の食品ロス活用マッチングに関すること  
いばらきフードロス削減プロジェクトマッチング支援コーディネート窓口 (県環境政策課委託)  
TEL：029-233-6734 E-mail：no-foodloss@joyobank.co.jp

○子ども食堂に関すること  
子ども食堂サポートセンターいばらき (県青少年家庭課委託)  
TEL：029-303-5561 E-mail：kodomo@npocommons.org

いばらきフードドライブキャンペーン

いばらきフードロス削減プロジェクト



茨城県県民生活環境部環境政策課  
TEL：029-301-2933  
E-mail：kansei1@pref.ibaraki.lg.jp



2025.12.8作成



2026.3.12印刷

### ③いばらき食品ロスみんなでゼロ作戦キャンペーン

- ◇目的 県民が家庭における食品ロス削減の取組を行う契機を創出し、家庭系食品ロスを削減するため
- ◇期間 2025年10月1日～11月30日
- ◇啓発物品 食品ロス削減啓発パンフレットの食品ロス記録シートに、家庭の1週間分の食品ロスを記録して応募すると、抽選で50名にエコ食品をプレゼント
- ◇広報等
  - ・ 県内スーパー（カスミ様、ヨークベニマル様、タイヨー様）、市町村窓口等で啓発パンフレット兼食品ロス記録シートを配布
  - ・ 県広報紙ひばり10月号の食品ロス特集ページで案内
  - ・ 県主催3Rイベント@イオンモール水戸内原でパネル展示、啓発パンフレット配布 など
- ◇実施結果等
  - ・ 食品ロスゼロ達成率：64%
  - ・ 主な廃棄食品：①野菜、②加工品、③果物
  - ・ アンケート結果：シート記入により食品ロスが減ったと思う（76%）
- ◇2026年度方針 食品ロスの発生要因は様々であり、より多くの県民に食品ロス削減を意識・対策してもらうため、新たなテーマで県民の行動変容を促すキャンペーンを実施する。

**「食品ロス記録シート」で  
ご家庭の食品ロスを見える化！**

まずは**1週間**記録してみましょう

日	品名	捨てたもの	理由	備考
10/1	野菜	キャベツ	食べ残し	残りから調理し食べた
10/2	肉類	豚肉	食べ残し	煮込み煮込み
10/3	果物	りんご	食べ残し	
10/4	加工品	パン	食べ残し	
10/5	飲料	ジュース	飲み残し	
10/6	その他			
10/7				
10/8				
10/9				
10/10				
10/11				
10/12				
10/13				
10/14				
10/15				
10/16				
10/17				
10/18				
10/19				
10/20				
10/21				
10/22				
10/23				
10/24				
10/25				
10/26				
10/27				
10/28				
10/29				
10/30				

**食品ロスとは？**  
「食品ロス」とは、食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことです。

国内における食品ロスは、**年間の464万トン(2023年) 年間約102g 削減!**  
削減が約233万トン削減!  
つまり半分は家庭から発生!

**いばらきネットモニター**  
毎日の食品ロス削減を記録し、削減率を競い合おう!

**知って得！**  
賞味期限とは？  
消費期限とは？

**知って得！**  
計画的な買い物で無駄をなくそう!

**知って得！**  
家族の予定や食べる量を確認しよう!

**知って得！**  
フードドライブ活動を知ろう!

**食品ロスとは？**  
「食品ロス」とは、食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことです。

国内における食品ロスは、**年間の464万トン(2023年) 年間約102g 削減!**  
削減が約233万トン削減!  
つまり半分は家庭から発生!

**いばらきネットモニター**  
毎日の食品ロス削減を記録し、削減率を競い合おう!

**知って得！**  
賞味期限とは？  
消費期限とは？

**知って得！**  
計画的な買い物で無駄をなくそう!

**知って得！**  
家族の予定や食べる量を確認しよう!

**知って得！**  
フードドライブ活動を知ろう!

**食品ロスとは？**  
「食品ロス」とは、食べられるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことです。

国内における食品ロスは、**年間の464万トン(2023年) 年間約102g 削減!**  
削減が約233万トン削減!  
つまり半分は家庭から発生!

**いばらきネットモニター**  
毎日の食品ロス削減を記録し、削減率を競い合おう!

**知って得！**  
賞味期限とは？  
消費期限とは？

**知って得！**  
計画的な買い物で無駄をなくそう!

**知って得！**  
家族の予定や食べる量を確認しよう!

**知って得！**  
フードドライブ活動を知ろう!

## ④食べきり啓発（「おいしい食べきり」全国共同キャンペーン期間）

- ◇目的 フードロス削減取組（食べきり）の実践拡大
- ・事業者のフードロス削減取組の後押し、実践拡大
  - ・消費者の食品ロス削減意識の醸成、行動変容
- ◇期間 2025年12月1日～2026年1月31日（忘年会・新年会シーズン）
- ◇広報等
- ・県ホームページに掲載
  - ・「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンの案内
  - ・宣言事業者の店舗やいばらき食べきり協力店の利用を呼びかけ
  - ・千鳥會における啓発  
2026年1月8日@水戸プラザホテル  
約千人に司会による食べきり呼びかけ、ポスターパネル4枚掲示、卓上POP56個掲示  
※ホテルの希望で持ち帰りは不可
- ◇2026年度方針 取組の普及（横展開）



## ⑤いばらき食べきり協力店

◇目的	外食産業等における食品ロス削減の取組促進及び県民の食品ロス削減に関する意識醸成
◇登録店舗数	147店舗（2026年2月時点）
◇目標と達成状況	2030年度目標（食ロス削減推進計画）：300店舗（達成率49%）
◇2026年度方針	食べきり協力店と連携したキャンペーンを検討し、協力店舗数の拡大と食品ロス削減を図る。

## ⑥食品ロス削減推進計画（別紙）

◇目的	食品ロス削減推進法第12条に基づき、本県の食品ロス削減対策を推進するため策定するもの
◇計画期間	2026年度～2030年度（2026年3月24日策定）
◇発生量推計	国の推計方法や公表資料を基に、2023年度（令和5年度）における本県の食品ロスの発生量を推計 【家庭系】6.3万トン 【事業系】7.4万トン
◇目標設定	本県の食品ロス量を2023年度比で2030年度までに、次のとおり削減させる 【家庭系】5.6万トン（11.7%削減） 【事業系】6.4万トン（14.0%削減）
◇今後の方針	食品ロスの削減目標に加えて、主な施策の評価指標を定めるとともに計画の進行管理を行う。 （評価指標：県民の食品ロス問題を認知して削減に取り組む割合、いばらき食べきり協力店の登録数 等）

## ⑦食品残渣資源循環モデル形成支援事業補助金

◇目的	食品ロスの削減と物価高騰への対応のため、食品製造工程等で発生する食品残渣を飼料又は肥料に再資源化する民間事業者を支援し、資源循環モデルの形成を図る。
◇内容	設備等の整備経費の一部を補助
◇補助金額	1,000万円（補助率2分の1かつ1事業者当たり上限500万円）
◇補助対象者	計2事業者（干し芋未利用部分の飼料化、大根端材の堆肥原料化）
◇2026年度方針	食品残渣のリサイクルモデルを複数確立し、他の事業者等へ横展開することで、残渣の有効利用が大きく進むことを目指す。（補助金廃止）

## ⑧マッチング支援コーディネート窓口

◇目的	フードロスを抱える事業者と活用したい事業者の相談を受け付け、取引のマッチングを支援する。
◇実績	2025年度（2月末現在） 相談25件、マッチング12件31事業者、フードロス削減量98トン
◇2026年度方針	引き続き窓口を運営して事業者間マッチングによりフードロスを削減する。